



# 町政報告

## ( 主な内容 )

6月定例町議会が、6月11日から6月18日までの日程で開催されました。初日、町長が町の現状や課題などについての町政の概要を報告。14日には6人の議員が登壇し、一般質問を行いました。

今議会では平成16年度一般会計補正予算や能代山本市町村圏組合規約の一部変更案など6議案が審議され、いずれも原案可決されました。

### 市町村合併

合併問題の推移は議員協議会において詳しくご報告し、また、ご意見をいただいているところでありますが、協議に参加している能代山本7市町村すべての議会において法定協議会設置議案が可決され、これに基づいて、5月17日、協議会が設置されました。二ツ井町からの学識経験委員には、商工会長の安井和則さん、農協理事などをお務めの菊池幸子さんをお願いしております。

第1回協議会は5月28日に開催され、委員36人が全員出席の上、会議運営規程事業計画、予算、合併協定項目、及びその調整方針、新市建設計画の作成方針が了承されております。

以後、月2回のペースで協議会を開催し、合併協定項目の調整や新市建設計画の作成などについて協議を進めていくこととしていきます。

町においては、原則としてその2日前に議員協議会を開催し、協議案件について議会のご意見をいただき、協議に臨むこととしております。

### 稲作

今年の稲作は、春先から好天が続いたことにより春作業は順調に推移し、田植え後の生育も良好と伺っております。

町に対する16年度の生産目標数量は、出入り作や市町村間の調整により、当初配分より65トン多い570

3トンと見込まれ、作付面積にして1025ヘクタールを見込んでおります。

米政策改革に対しては、「売れる米づくり」の推進など、米の需給調整システムの構築をめざし、農業団体や農家の意向をふまえ、対応して参ります。

### 稲作の航空防除

大型ヘリコプターによる水稻の航空防除について、環境のまちづくりや環境配慮型農業を推進する立場から、段階的にラジコンヘリへと切り替えて参りました。



ラジコンヘリによる航空防除

ようやく、体制も整いましたので、本年の防除協議会において、大型ヘリ散布は全面的に取りやめ、全町

をラジコンヘリで実施することと致しました。農家が負担する散布料金も極力抑えることに努め、10アール当たり90円増の2600円を見込んでおります。

### おむすび権米衛

町との連携拡大を進めている首都圏のおにぎり専門店、「おむすび権米衛」は、その後、20店舗まで店舗を拡大しておりますが、その内、5月に開店した中央官庁街に隣接する虎ノ門駅前店を含め、すでに6店舗は二ツ井産あきたこまちだけで営業しております。

同社では、二ツ井産米を導入することによって、さらに店舗を増やしていく意向を示しており、この5月22、23日の2日間、社員一行5人が来町し、産地とのきずなを深めるため、田植え体験や生産者との交流を行っております。

また、来春の高卒者を地元から採用したいとの意向を示し、二ツ井高校の担当教員とも交流を行いました。さらに活発化することを期

# 6月定例町議会

待しております。

## ミニライスセンター設置

町内の若手農家が法人を設立し、米づくりに企業経営の感覚を取り入れながら、高品質・良食味米の計画的生産をめざしていこうと、秋田米トップブランド対策事業を活用してミニライスセンターの設置を計画し、国庫補助事業を申請しておりますが、極めて厳しい状況の中で、関係者のご尽力により採択が決まり、秋作業前の完成をめざしております。

## 秋田ファッショソイイングの存続について

カネボウの事業再生計画により、関連企業である秋田ファッショソイイングが売却または清算の対象となりました。

会社側では、従業員の雇用を確保するため、事業存続に向けて売却先企業探しに最大限努力したいとの意向であり、町としても協力する考えを伝えております。具体的スケジュールは決

まっていないということですが、今後の展開において、県の支援を仰ぐ事態も想定されると存じ、7日に山本地域振興局、8日には県産業経済労働部、あきた産業振興機構へ協力を要請して参りました。

今後も、会社、県と密接に連絡を取り合い、事業存続のため、必要な対応を行って参ります。

## 第一観光バスに新起事業奨励賞

白神山地観光に独自のバス路線を開設するなど意欲的な事業展開を行っている町内の第一観光バスとそのグループ会社が、財団法人秋田経済研究所から中小企業振興表彰を受けることになり、本日、表彰式が予定されております。

同研究所は、秋田銀行のシンクタンクとして、新技術・新製品の開発や特色ある業績・成果をあげている企業を表彰しており、第一観光は新起事業奨励賞に選ばれました。

大館能代空港やJR二ツ井

駅と白神山地をはじめとする観光地を結ぶアクセスを拡充し、地域観光の振興と県外からの誘客に貢献していることが評価されたものと伺っております。

## きみまち阪公園改修

県立自然公園きみまち阪の公園入り口は、以前から階段が歩幅に合わない、木柵が老朽化しているなどの問題があり、県に改修を要望してまいりましたところ、今年度の新規事業として、県内産工コ製品普及モデル事業により整備が行われることとなりました。

秋田杉のウッドチップを活用し、入り口から階段までの舗装と階段の改修、リ

サイクル製品による木柵の改修などを計画し、来月から11月末までの工期を予定しております。

工事期間中、この部分が通行止めとなり、迂回をお願いすることになります。ご協力をお願い申し上げます。

## 田園空間整備事業

田園空間整備事業は、事業最終年度となる今年度、小掛・鬼神を結ぶ集落道整備と案内標識整備、また、昨年完成したブナの森ふれあい伝承公園の追加整備を進めて参ります。

また、整備した施設の活用を促進するため、組織づくりも進めることとしております。

## 総合体育館

総合体育館の建設工事は、本体基礎が完了し、一階部分の型枠・鉄筋の組立て中で、基本工程どおり進んでおります。進捗率は約16%となっております。

大断面構造用集成材の材料となる秋田杉ラミナも、



改修が行われる公園入口

# 6月定例町議会

町内の製材業7社より随時納入されており、5月下旬から集成材の製作に入っております。今後とも事業の促進に努めて参ります。



順調に進む総合体育館建設

## 15年度ごみ処理量

15年度の町のごみ処理量は、可燃ごみが前年度比3・3%増の3036トン、不燃ごみは13・9%減の594トン、ビン・缶・ペットボトルの資源ごみは、6・2%減の220トンでありました。古紙、廃家電品を含めたごみの総量は、4116トンで、前年度比0・8%減となっております。ごみ処理のピークは、ごみ袋導入前の11年度で、7302トンでありましたの

で、それに比べますと、40%強の減少率となっております。

今後も、資源の有効活用のために、分別収集の効率化を図りながら、ごみの減量化、リサイクルに努めて参ります。

可燃ごみは、14年度から八竜町にある南部清掃工場で焼却処理することとし、2年が経過しましたが、特にトラブルもなく順調に推移しております。

## 小掛・鬼神地区水道整備

小掛・鬼神地区の水道整備につきましましては、小掛地区からは合意を得ておりました。

鬼神地区においても、町の整備方針について説明会を開催し、地区としての判断を求めておりましたが、先月14日、水道整備を進めてもらいたいとの要望書が出されましたので、小掛・鬼神地区を一体とした整備を進めることとしております。

今年度は、水道事業経営変更認可申請や国庫補助要

望を行い、17年度着工、19年度完成に向けて作業を進めて参ります。

## 全町水道整備計画

全町水道整備計画につきましては、3月26日に水道整備予定区域内の水道組合に対して、町の水道整備計画案の説明会を開催し、水道料金や分担金など個人負担の例も明示しながら計画についてのアンケートを実施しております。

今後さらに、個人井戸の方々についてもアンケートを行い、水道整備の参考にして参ります。

## 駐在所統合

先の議会でも報告しておりましたが、県警本部では、治安対策の強化や市町村合併への対応を目的として、17年度から小規模署の統廃合など組織機構の再編・合理化を図ることとしております。

先般、その内容が発表され、二ツ井町では富根、仁鮎、種梅の3つの駐在所のうち、富根、仁鮎駐在所を

二ツ井交番に統合する内容となっております。町では能代署や二ツ井交番を通じ、駐在が地域に果たす役割の大きさを強調しながら、存続を要望して参りましたが、非常に残念なことで存じております。

統合される駐在所は、廃止してしまうのではなく、警察官の宿舍や警察官連絡所として活用し、引き続き地域に居住すると伺っておりますが、存続する余地がないかどうか、改めて県警側に要請して参ります。

## 保育園再編

3月末で閉園した種梅保育園を活用して、「子育て支援センターさんぽえむ」をスタートさせました。

子育てに悩む保護者の相談や子どもを連れて集える交流ひろばの開設、各種行事などを行っております。利用状況は、大人、子ども合わせて、4月が440人、5月は447人で、一日平均22人となっております。利用者からは、遊び相手ができていい、リフレッシュ



# 6月定例町議会

ユできる、知り合いができたなど、喜ばれております。また、支援センターの「お日さまボランティア」として、30の方が登録されており、本の読み聞かせ、遊び、草取りなど支援をいただいております。乳幼児から高齢者まで各年代の人たちが交流し、「共に育て、共に育つ」ことのできる子育て環境をめざして参ります。

種梅、天神保育園の閉園に伴い、両地域の園児は二ツ井、高丘保育園に通園しておりますが、これまでのところ、順調に推移しております。

仁鮎、切石、富根保育園については、今年度いっぱい閉園する方向を固め、保護者、地域の方々に説明会を開催して参りました。入所児童の減少に伴う集団保育の機能低下、多様な保育ニーズへの対応、財政状況などについて説明しておりますが、町の方針にご理解をいただけるよう、引き続き努力を重ねて参ります。



さんぼえむで一緒に遊ぶ親子

## 国民健康保険

国民健康保険事業は、老人保健制度の改正や、景気低迷に起因する加入者の増加、高度医療に伴う医療費の増加などにより、厳しさを増しておりますが、町においては、15年度からの繰り越しが当初の予想を上回り、これを財源として、税の軽減を行うことと致しました。

要因としては、昨年4月の制度改正により、高額医療費負担が大きい保険者に対する共同事業交付金が増えたこと、低所得者を多く抱える保険者に対する保険基盤安定支援制度ができたことにより、交付金などの

歳入が予想を上回る結果となりました。

また、インフルエンザがそれほど流行せず、冬期間の医療費支払いが抑えられたことも重なり、14年度の繰越額に比べ、約2千万円上回る状況となりました。所得割の税率を0・45%、平等割4300円、均等割2500円をそれぞれ引下げ、一人当たり2700円、世帯当たりでは6400円の軽減を行うこととしております。

介護分については、介護保険事業費の増加に応じて、加入者から徴収する納付金の増額が国から示されており、当初予算で算定した税率を実行することとし、これに伴う条例改正を提出しております。

## 職員の不祥事について

5月23日、建設課主任が酒気帯び運転による追突事故を起こし、警察によって逮捕されるといふ不名誉な事態を引き起こしてしまいました。

同僚の結婚式に出席して

酒を飲んだあと、1時間ほど自分の車の中で眠り、住居として市内のアパートに帰ろうとしての事故でありました。幸い、相手の方にけがはありませんでした。

職員には機会あるごとに公務員としての自覚を持つように、特に飲酒運転については、絶対にあつてはならないことと指導しておりましたが、このような事態を招いてしまい、深くお詫び申し上げます。

町が定めている「交通事故等職員の懲戒等に関する基準」に照らし、本人を停職6カ月の懲戒処分とし、建設課長、建設課長補佐、建設係長を訓告、助役を厳重注意と致しました。今後、さらに職員の綱紀粛正を図り、二度とこのような事態を招かぬよう戒めて参ります。